

2022年5月27日

## 看護学科臨床病態医学教授選考方針

臨床病態医学教授選考方針検討委員会

委員長 嶋 緑倫

委員 吉川 公彦

川上 あずさ

田中 登美

本学看護学科臨床病態医学の濱田薫教授が2023年3月末日をもって定年退職の予定であることから教授選考を開始します。

本選考では、病態医学を専門とし、品格と見識に優れ、社会規範を遵守し、奈良県立医科大学を愛し、本学が発展するために貢献できる人物を求めます。

特に下記の項目について考慮しながら選考します。

- 1 看護学教育における臨床病態医学に関する広範な知識、豊富な教育経験、医師としての臨床経験及び顕著な研究実績を有し、看護学教育への理解と柔軟性をもって看護学科及び看護学研究科のより良い運営に貢献できること
- 2 学科教育においては看護師としての臨床判断能力の基盤を強化するために、各領域の代表疾患の病態、症状、臨床所見、検査、治療経過、予後などの臨床基礎知識を看護学生に修得させ、看護学科4年生を対象に看護研究の指導ができること
- 3 大学院教育においては質の高い看護実践を行うために、複雑な健康問題をもった対象の身体状況について系統的に全身を審査し、臨床看護判断を行うために必要な知識と技術を習得する「アドバンストフィジカルアセスメント」の教授ができること